



巻頭言／社会貢献活動のさらなる充実めざす	2
正雀愛育園が認定こども園に	3
多機能型事業所開設へ準備すすむ	3
26年度研修報告（高齢者・保育）	4~5
先輩からのメッセージ	4
介護の力強い戦力に—フィリピンの育成現場視察	5
26年度地域貢献事業報告	6~7
「親子でいっしょにあそぼ」冊子できました	6
地域の「パソコン同好会」支援 せつ桜苑	7
26年度事業報告	8
27年度事業計画	9
26年度決算報告／27年度資金収支予算	10
利便・環境・防災面の設備整備	11
トピックス	12

## “新”園バス発車オーライ!! 園児送迎、遠足・合宿にも大活躍!



### 大阪「チーム成光苑」ベスト8 采配冴えメンバー勢いに乗る 民間共済会ソフトボール

民間共済会ソフトボール大会が5月21日、大阪・舞洲で開催され、大阪地区「チーム成光苑」が参加、順当に予選を突破。続く決勝トーナメント初戦も序盤からリードする展開でしたが、最終回に逆転を許し惜しくもベスト8となりました。

今大会のキーマンは昨年度から加入した男性保育士。前回大会では



実力が発揮できない場面もありましたが、今回は選手兼任監督の采配も冴え渡り、メンバーもその勢いに乗って全試合で大活躍!これからも楽しく活動しテッペンを目指しますので、未経験者大歓迎・部員募集中!

旧園バスは何十万キロを走破・点検や修理を重ね10年以上ガンバってくれましたが、安全面を考慮し買い替えに踏み切りました。新年度が始まり、いつもの駐車場にある新しいバスを見た子どもたちは「新しいバスだ!早く乗りたいな」と大興奮。カラーも白から淡い黄色とあって、より明るい印象になりました。

園バスは園児の送迎はもちろん、各愛育園児やきりんクラブ(学童)の子どもたちを大勢乗せて、遠足や合宿保育など様々な行事にも欠かせない存在となっています。これからもみんなを乗せて、安全に長く活躍してくれることを願っています。  
～千里丘愛育園～

### 日本財団からステップワゴンを助成 ご利用者の送迎用に

ライフ・ステージ 舞夢に3月16日、送迎車として日本財団の助成車輛(ステップワゴン)が納車されました。

ピッカピカの送迎車でお迎えにあがると、ご利用者もニッコニコ、会話が弾みます。

安全運転に心がけ大切に使わせていただきます。

～ライフ・ステージ 舞夢～

### 練習に熱に入る愛育園混成チーム サントリーの村上氏をコーチに迎え 共済会バレー大会は8月29日

成光苑の愛育園7ヶ園からバレー好きの職員が集まり、8月29日に行われる民間共済会バレー大会に向け練習が始まりました。

今年度は「サントリー SUNBIRDS」の村上龍介氏をコーチに迎え、迫力のある指導が行われていますが、選手はみんな大張り切り。今から試合での活躍が楽しみです。



#### 〔法人理念〕

- 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
- 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
- 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

#### 〔サービス目標〕

- オンリーワンとナンバーワンを目指す。
- オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

#### 〔老人施設経営方針〕

- 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する
- 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする
- 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する

#### 〔愛育園経営方針〕

- 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
- 女性の社会参加の支援に貢献する。
- 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2015年6月  
【発行】社会福祉法人 成光苑（理事長 高岡 國士）  
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7  
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551  
URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

#### ★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

新規に児童の発達支援、  
障がい者生活介護の2つのサービス  
保育と高齢者部門の連携が特色

多機能型事業所開設へ準備すすむ  
成光苑では新規事業として、多機能型事業所「ココリス」の開設に向けて準備を始めました。28年開設を目指し、吹田竜ヶ池ホーム所は「津屋愛育園」のそばに開設します。児童福祉法分野の児童発達支援サービスと障害者総合支援法分野の生活介護サービス

昨年度に閣議決定された「規制改革実施計画」ですべての社会福祉法人に対し、社会貢献活動の実施が義務付けられることとなり、「地域における公益的な取り組み」を実施する責務が社会福祉法の中でも位置づけられました。



## 社会貢献活動のさらなる充実めざす

理事長 高岡 國士

社会福祉法人成光苑の事業の推進に皆様から賜った多大なご協力とお力添えのおかげで、無事に新年度を迎えることができましたことに厚く御礼申し上げます

### 痛みを伴う財政改革

さて、安部政権では長年の課題であった安全防衛、集団的自衛権も含め、構造改革を進めようとしています。戦後の日本にとっては大改革となります。併せて大きな課題となっていた財政改革は、二〇二〇年をめどにプライマリーバランス黒字化の実現を目指し、六月開催の経済財政諮問会議で本格的に進めようとしています。その前二〇一八年にはGDP比1%の歳出削減を図るとされていますが、少子高齢社会の日本にとり必要なことではあるものの、社会保障には大きな影響が出ることが予測されます。われわれ福祉業界にとって大きな痛みを伴うことは避けられません。

### 社福法人制度の存続は不可欠

構造改革に伴う税制や社会福祉法人制度など、世界を取り巻く改革では、イコールフットディングの観点から課税問題が指摘されています。課税となれば福祉の市場化が進み、社会的弱者の切り捨てにもつながり、セーフティネット機能の弱体化が懸念されます。このような状況の中で、一部から聞こえてくる不要論の声に対し、社会福祉法人制度の存続は不可欠であることを強調したい。そのためにもこれまで以上に社会福祉法人としての使命を果たす活動をしていかなければなりません。

### 育成体制強化し人材の定着へ

成光苑では毎年「社会貢献事業の充実」を謳ってまいりました。今年度については、四月から施行された生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受け入れ、新たに京都府でも始まろうとしている生計困難者支援への参画はもとより、大阪府社会福祉協議会がすすめる社会貢献事業には高齢者施設だけなく、保育施設も参画できるよう体制を整備し、法人全体として地域の総合相談窓口としての機能を果たしたいと思っております。

一方、福祉現場では労働力人口の減少、労働条件の格差、景気の回復による他業種への人材流出など人財確保難が年々深刻化しております。人材確保と定着は施設経営にとって最重要課題です。当法人では今年度、人材確保ための発信活動にとどまらず、定着のための育成体制、労働環境の整備をこれまで以上に進めることとしております。

今号の「ききょう」(夏号)では「二十六年度事業報告」十七年度事業計画など法人の活動状況を掲載しています。引き続き社会福祉法人とともに、経営の透明性の確保、人財確保対策にも対応できる体制構築に向けて精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

### 最近の出来事

1月～5月

#### ○社会福祉法人

- ・政府が財政健全化計画の基本方針を公表
- ・社会保障審議会福祉部会にて「社会福祉法人制度改革について」報告書がとりまとめられる
- ・社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」について厚労省より発出
- ・社会福祉法改正法案 国会提出 平成28年4月施行（一部29年4月）

#### ○人材確保

- ・2025年に向けた介護人材の確保案が厚労省より示される

#### ○介護

- ・平成27年度介護報酬改定 介護職員処遇改善加算分を除くと実質4.48%の引き下げ

#### ○児童

- ・子ども子育て支援新制度はじまる
- ・保育所版福祉サービス第三者評価基準ガイドライン等改定案とりまとめ

#### ○障害

- ・厚労省「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」を開催
- ・平成27年度障害福祉サービス等報酬改定

#### ○生活困窮者

- ・生活困窮者自立支援制度はじまる



認定こども園もあいいいくん  
しょうじやくも園

## 正雀愛育園が認定こども園に

新制度に伴い4月から教育面を重視 子どもの可能性引き出す

正雀愛育園は27年4月から「認定こども園【正雀愛育園】」としてスタートしました。新年度から新たに施行された保育子育て新制度に伴い、当園が認定されたものです。

認定こども園は、保育園が教育

の側面を、幼稚園が保育の側面をそれぞれ取り入れる幼保連携の新制度で、今回大阪府下では287ヶ園が認定こども園となりました。

正雀愛育園では認定こども園となつたのを機に、より教育の面を重視しながら、子どもたちが日常生活の中で多くのことを経験し、その可能性を引き出すとともに、小学校とのきれ目のない連続した生活を大切にした保育を中心がけていきたいと思っています。

**認可保育所となり定員増も【くるみ小規模保育園】**

くるみ小規模保育園は27年4月からの子育て支援事業制度の施行にともない認可保育所となり、定員数も15名から19名に増えました。

**入園希望増に対応し定員160名に**

大阪市が進める子ども子育て支援事業制度を先取りした事業に対応、すでに昨年4月からくるみ小規模保育園として展開してきたものです。家庭的な保育、異年齢児保育を柱にすすめ、より地域に根ざした保育園になるよう努めたいと思っています。

## 「中間的就労」のモデル事業に挑戦 地域貢献の一環～吹田竜ヶ池ホーム～

第二愛育園は今年度から定員を145名から160名に増やしました。地域の保護者のニーズ変化で入園希望が多く、分園2ヶ園を目標に、日祝日保育はもとより夜は9時まで開園、365日型保育の園として進めていきます。

**千里丘愛育園の分園に変わりました！**

第二愛育園の分園、ひよこ園が今年度から千里丘愛育園の分園に変わり、定員も15名から20名に増えました。摂津市の待機児童解消対策に対応したものです。

子どもたちは新しい環境や多くの園児に戸惑いながらも、ホールやランチルームで元気に身体を動かしたり、遊具で遊んでいます。みんなで一緒にリズムをしたり、土曜日には合同で保育をしています。これからも行事と一緒に経験したり、異年齢児との交流をすすめたいと思っています。

新規に児童の発達支援、障がい者生活介護の2つのサービス保育と高齢者部門の連携が特色

成光苑では新規事業として、多機能型事業所「ココリス」の開設に向けて準備を始めました。28年開設を目指し、吹田竜ヶ池ホーム所は「津屋愛育園」のそばに開設します。児童福祉法分野の児童発達支援サービスと障害者総合支援法分野の生活介護サービス

スの2つのサービスを同じ建物で実施する多機能型となる予定です。この事業は、重度者対応の設備機能と、成光苑保育部門や高齢者部門との連携が大きくなっています。成光苑の理念に沿い、地域においてよかつたと評価されるサービスを目指します。

就労支援事業受託事業者との三者で定期的に支援しながら一般就労に向けた動き始めています。「中間的就労」は増加傾向にあるといわれ、一般就労に結びつけるための就労訓練が必要です。始まったばかりですが、エアコンのフィルター清掃やソファなどが美しくなる成果をあげ、ご利用者や職員に喜ばれています。

# 次世代の育成視野に、継続性のある研修を実施

## 高齢者施設26年度【研修報告】

### 幹部職層の研修体制の整備を進める

幹部職員(施設長・部長・課長・管理者など)を対象とし、「和顔愛語」の作成の過程などを含め、理事長を講師とした研修会を実施。また、法人内のメンタルヘルス研修(ラインケア・年間3回実施)の実施、次世代リーダーの育成の一環として、社会福祉懇談会が実施する経営品質向上活動勉強会にも各施設代表者1名が参加。幹部職層の研修体制について見直す1年であったが、今後も継続して幹部職層の研修体制の整備を進める必要があると考えている。

現場職員に対しては26年度、研修効果を測定するため目標値を数値化して年間研修計画を遂行。目標値は、研修前後の成長度自己評価が+1評価のものが70%以上として設定。チーフアドバイザー研修では77%、中級(主任係長)研修では80%と、目標値を達成することができた。この結果を踏まえ、今後キャリアパスや人事システムと連動するような法人研修への取組が必要と考える。

	研修名	講師
4月	新人職員研修(4/1~3)	法人
	人材育成PJ会議	法人
	栄養士サービス研究研修	地域別
	ケア24委員会研修	地域別
5月	ケア24委員会研修	地域別
6月	主任係長研修(大阪)	法人
	普通救命急救研修(大阪)	地域別
	ケア24委員会研修	地域別
7月	非常勤研修(京都)	地域別
	人材育成PJ会議	法人
	主任係長研修(京都)	法人
	栄養士サービス研究研修	地域別
8月	メンタルヘルス研修(1回目)	法人
	幹部研修(京都・大阪)	法人
	ケア24委員会研修	地域別
9月	主任係長研修II(大阪・京都)	法人
	ケア24委員会研修	地域別
	認知症ケア研修	法人
10月	ケア24委員会研修	法人
	チーフアドバイザーリングアップ研修	法人
	栄養士サービス研究研修	地域別
11月	ケア24委員会研修	地域別
	主任係長研修III(報告会大阪)	法人
	メンタルヘルス研修(2回目)	法人
12月	普通救命急救研修(大阪)	地域別
	人材育成PJ会議	法人
	ケア24委員会研修	地域別
1月	主任係長研修III(報告会大阪)	法人
	ケア24委員会研修	地域別
	人材育成PJ会議	法人
2月	新チーフアドバイザーリングアップ研修	法人
	新人ステップアップ研修	法人
	ケア24委員会研修	地域別
3月	チーフアドバイザーリングアップ研修	法人
	人権学習(京都)	地域別
	人材育成PJ会議	法人
	ケア24委員会研修	地域別
	法人研究発表会	法人
	メンタルヘルス研修(3回目)	法人

## 成光苑研究発表 最優秀賞に「困難ケースに対する戦略」

寿みのりの郷デイサービス

第10回社会福祉法人成光苑研究発表が3月1日開かれ、寿みのりの郷デイサービスセンターの「困難ケースに対する寿みのりの郷デイサービスの戦略～個別支援の見直しとスタッフの意識改革～」が最優秀賞を受賞しました。

内容は、要介護レベルの重度化に伴い、居宅介護支援事業所からの困難ケースの新規依頼が後を絶たない中で、サービス事業所から受け入れ拒否など

## 高齢者施設27年度【研修計画】

27年度も引き続き、チーフアドバイザーリングアップ研修による新人指導体制の充実を目指すとともに、中級職員研修の受講対象者を「主任・係長」から「入職3~6年目の者」に変更し、新たな手法を導入した中級職員ブラッシュアップ研修として実施する予定です。(階層別研修一覧 下表参照)

研修名	対象者・回数	内 容
新人基礎研修(講義)	入職1年未満の新人職員 ・施設でのOJT ・プロジェクトフォローアップ	・基礎研修では求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・アンケートやヒアリングでの現場でのフォローアップ
新人ステップアップ研修(講義)	基礎研修を受講した新人(1日)	・1年間のおさらいと2年目へのステップアップ
チーフアドバイザーリングアップ研修(講義)	新人職員に従事するチーフアドバイザーリング(2日)	・新人職員を指導するための教授法 ・部下指導のためのコミュニケーションスキル ・新人職員研修プログラムの使い方等
チーフアドバイザーリングアップ研修(講義)	OJTに関わる6か月過ぎたチーフアドバイザーリング(1日)	・OJTの進捗状況の振り返りと課題の共有 ・モチベーションアップのための講義 ・研修レポートの作成
中級職員ブラッシュアップ研修(講義)	部署リーダー(年1回) 入職3~6年目の者(京都/大阪)	・部署リーダーとして求められるスキルの取得 ・部署で実践できる取り組みの考察 ・キャリアレインボーアンドインバースの手法を導入 ・役割の気づきと今後の設計

### 海外視察報告

## 日本の介護の力強い戦力に

ごく近い将来、京都北部の介護人財にもなってくれるであろう「インターナショナルケアナース」の育成現場の視察(4月18日~22日)のため、フィリピン・ラカン州を訪れました。

「インターナショナルケアナース」育成への取り組みは、技能実習生に先駆け、京都府内の社会福祉法人などが中心となり、フィリピンの日本語学校をカウンターパートとし、各機関が連携し外国人介護士候補を育成・就労させるモデルケースです。

京都市府内と大阪府内の7法人の関係者や人財開発企業関係者とラカン州の日本語学校や大学の看護科を訪問、ラカン州知事への表敬訪問など中心にこの取り組みの進捗状況とこれからの方針を確認しました。

フィリピン訪問は5度目になりますが、人々のエネルギーと活力に圧倒される理由は、子供や若者が絶対的に多い人口構造と人々の希望に満ちた笑顔にあります。ホスピタリティとサービス精神に溢れるお国柄



サービス利用につながらないご利用者を対象とし、認知症対応型デイサービスとして支援を必要としている方に支援の手が届き、ニーズに継続的に応えていくような支援体制の再構築をはかるというものです。

なお、この研究は3月24日に鳥取県米子市で開催された第19回社会福祉法人こうとうえん研究発表会でも発表され、他法人との交流機会になりました。

## 定期的な自己評価で質の向上・改善を目指す

### 保育施設27年度【研修計画】

27年度の法人全体研修については、初任者と中堅職員などに区分するほか、キャリアパスをイメージした研修体制を構築するとともに、今年度より使用を開始する「保育新人育成マニュアル」や全面改定した「食物アレルギー対応マニュアル」の活用、内容の精查、食物以外のアレルギーへの対応マニュアルの策定を検討。

各園が作成したマニュアルの見直しなどマニュアル全般の活用・見直しを進める予定です。また、自己評価に基づいた育成体制の検討事項として、個々の保育士などの自己評価、園全体の保育内容について定期的な自己評価を実施し、保育の質の向上や改善のための取り組みに反映させることを目指します。

研修名	対象者・回数	内 容
7ヶ園合同研修会	全職員・年1回 (新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育士及び新規採用職員が参加する研修会の実施
主任保育士研修	主任保育士等 2ヶ月/回程度	平成27年度に使用開始となる保育新人育成マニュアルの見直し作業及び各園の活動の情報共有等を目的として実施。
立腰・漢字教育・百算盤等 等に関する研修	保育士全般(経験者・初任者に区分して実施)/年1回~	立腰・漢字・百算盤等を導入するにあたり、保育士の指導力の向上を目的とする(外部講師等)
障がい児研修	中堅職員・年1回	障がい児保育の充実に向けた専門的知識・対応方法等の獲得(外部講師)
リズム研修	主に幼稚担当保育士等 年2回~	子どもへのリズム指導のスキルアップを目的として実施(内部講師)
子育て支援対策委員会	子育て支援担当者 2ヶ月/回	地域子育て支援事業の充実・体制整備に向けた情報共有・交換・協働活動を実施
給食担当者会議	給食担当者/保育士等	子どもへの食事の提供の充実を目的とし、献立の共有等の機会を確保するとともに、給食担当者の業務の効率化等も検討する。
公開保育	担当園が開催 年1回	法人内の担当園が主催し、保育の見学および情報交換を実施。自園の保育を見直す機会とする
接遇・マナー研修 (コミュニケーション研修)	全職員(中堅・初任者に区分して実施)/年1~2回	保護者対応等、保育士に求められる接遇・マナーの基本を学ぶ(外部講師)
体育指導研修	保育士等全般	保育現場での実践に活かせるよう体育指導について外部講師による実技も含めた研修を実施。
音楽指導研修	主に初任者保育士等	保育現場での実践に活かせるよう音楽指導について外部講師による実技も含めた研修を実施。
部下指導研修	中堅保育士等 年1~2回	育成体制の充実の一環として、中堅職員を対象とした部下指導力の向上を目的とする(H27年度より新たに開始)
園長会	全園長・年6回	内部コミュニケーションの強化及び保育サービスの質の向上等

### ～先輩からのメッセージ～

保育現場に触れ迷わず決めました!

「明るく働きやすい」と先輩の報告



福田 慶子  
千里丘愛育園

平成26年入社

私が愛育園を選んだのは、「明るく働きやすい保育園」ということを、私と同じ出身校の現在の先輩スタッフが就職課の先生に報告に来られたことがきっかけでした。

実際に見学し、保育現場で先生方と子どもたちの関わり方、就活で緊張している私への親切丁寧な対応ともあいまって迷わず応募しました。

今は、先輩方にも温かく見守られ、子どもたちの健やかに成長する姿に何度も感動しながら保育士として充実した毎日を送っています。



石坪 明日香  
岩戸ホーム

平成26年入社

私は小学生のときから成光苑の高齢者施設で福祉施設体験学習やボランティアに参加していました。ご利用者と接するがとても楽しくて、その頃から「成光苑で働きたい!」というのが夢でした。

夢が叶って今年で2年目。今は信頼できるスタッフに支えられ、介護のプロとして責任の重さを学ぶ日々ですが、ご利用者の笑顔やご家族の温かい言葉も励みとなり、この仕事のやりがいを感じています。

学生のみなさんも積極的にボランティアや福祉施設体験に参加してはいかがでしょうか。私も成光苑でお待ちしています。

### 「地域の一員として社会貢献にどう取り組むか」をテーマに基調講演

### 7ヶ園合同研修で高岡理事長

新年度のスタートとして毎年3月末に実施される愛育園合同研修は、7ヶ園の職員が一同に集まり、保育業務を取り巻く現状と課題についての講義が行われました。今年は「社会福祉法人制度改革の中での各園は社会貢献事業に地域の一員としてどのように取り組んでいくか」を主テーマに高岡理事長の基調講演のほか、外部講師による幅広い講義が行われました。

懇親会では和やかな雰囲気の中、各保育園から音楽をテーマにした出し物があり親睦を深めました。今後とも様々な研修などを通じ保育士としてのスキルアップを図り、地域に根ざした保育業務の充実・向上に努めたいと思っています。



## 27年度 事業計画

## 高い公益性を確保し自律した経営の強化

## 【中長期計画(新規事業関連)】

- ①岩戸ホームの老朽改築:27年度計画立案。29年度完成予定  
②高槻けやきの郷 サービス付き高齢者向け住宅の建設:27年度未完成予定  
③吹田竜ヶ池ホーム 障がい福祉事業の開設:27年度改修工事着工。28年度事業開始  
④ライフ・ステージ舞夢 新規特養(地域密着型)の開設:現在計画中。29年度完成見込

## 【事業方針】

成光苑では、社会福祉法人としての役割と責務を果たすべく、効果的かつ適正・健全な法人運営を行うことを旨とし、自律した経営の強化を目指す。“高い公益性の確保”と“提供する福祉サービスの質の向上”に努め、“地域への貢献事業”などに擲げることを目的とする。これらのこと念頭に置き、社会福祉法人 成光苑では今後の新たな事業展開や修繕事業などについて、以下のとおり進めることを検討している。	160名へ) ⑤ぐるみ小規模保育所の定員4名増(15名から19名へ) ⑥障がい福祉事業の開設準備室の設置 →摂津市の一津屋愛育園で生活介護(定員10名)、児童発達支援(定員10名)事業(28年4月開所予定)(※②~⑥は3面に記載)	京都地域福祉創生事業「わっかプロジェクト」への参画 ・災害発生時の支援体制の整備(職員派遣、義援金の寄付) ③地域の福祉ニーズに対応したサービスの提供 ・従来の高齢者・児童を対象としたサービスに留まらず、障がい者・児への支援体制を整備し、全世代への福祉サービスの提供 ④法人理念の明確化、周知の徹底 ・理念などを冊子化した「和顔愛語」(26年度発行)の全職員への周知 ⑤組織体制の充実・整備 ・日本経営品質賞(日本生産性本部)に関わる取り組みを法人内で推進 ⑥適切な情報開示 ・情報開示に対応するための情報の整理
(1)新規事業など ①高槻けやきの郷で定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業開始 ②子ども育て支援システムの導入に伴い、正雀愛育園の認定こども園への移行 ③摂津市内の待機児への対応として、第二愛育園分園ひよこ園を千里丘愛育園分園へ移行 兼ねて定員5名増(定員15名から20名へ) ④ひよこ園移行に伴い、吹田市内の待機児に対応するため第二愛育園本園の定員15名増(145名から	→大阪府:生活困窮者レスキューステーション 京都府:	
①岩戸ホーム老朽改築に向けた準備体制の整備 ・増改築検討会の実施による内容の検討と計画の立案 ・京都府との事前協議など ②在宅サービス充実への取り組み	・岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館協働による地域包括ケアに向けた活動 ・高槻けやきの郷のサービス付き高齢者向け住宅の開設に向けた検討会の実施	③地域の福祉ニーズへの対応 ・総合相談窓口の設置による地域の福祉ニーズの把握
①子ども育て新システムの導入に伴う体制整備 ②女性の社会参加を支援するための保育サービスの提供 ・地域の待機児解消に対する事業展開、受入体制の整備 ・延長保育事業、一時預かり事業、学童保育事業(自主事業)などの積極的な実施 ・日曜祝日保育事業(自主事業)の実施(第二:365日)	③地域子育て支援に関する事業の充実 ・法人内全園における地域子育て支援事業の実施(一部、自主事業として実施) ・地域子育て支援対策委員会の定期開催 ・法人で独自に作成した健康およびあそびに関するハンドブックの無料配布	④地域の福祉ニーズへの対応 ・法人内の子育て支援事業(親子教室)におけるトリブルPプログラム講座の実施の検討 ④地域の福祉ニーズへの対応 ・育児を中心とした相談窓口のさらなる周知 ・ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援)の事業開始に向けた体制の検討

## 【高齢者施設】

①岩戸ホーム老朽改築に向けた準備体制の整備 ・増改築検討会の実施による内容の検討と計画の立案 ・京都府との事前協議など ②在宅サービス充実への取り組み	・岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館協働による地域包括ケアに向けた活動 ・高槻けやきの郷のサービス付き高齢者向け住宅の開設に向けた検討会の実施	③地域の福祉ニーズへの対応 ・総合相談窓口の設置による地域の福祉ニーズの把握
①子ども育て新システムの導入に伴う体制整備 ②女性の社会参加を支援するための保育サービスの提供 ・地域の待機児解消に対する事業展開、受入体制の整備 ・延長保育事業、一時預かり事業、学童保育事業(自主事業)などの積極的な実施 ・日曜祝日保育事業(自主事業)の実施(第二:365日)	③地域子育て支援に関する事業の充実 ・法人内全園における地域子育て支援事業の実施(一部、自主事業として実施) ・地域子育て支援対策委員会の定期開催 ・法人で独自に作成した健康およびあそびに関するハンドブックの無料配布	④地域の福祉ニーズへの対応 ・法人内の子育て支援事業(親子教室)におけるトリブルPプログラム講座の実施の検討 ④地域の福祉ニーズへの対応 ・育児を中心とした相談窓口のさらなる周知 ・ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援)の事業開始に向けた体制の検討
①子ども育て新システムの導入に伴う体制整備 ②女性の社会参加を支援するための保育サービスの提供 ・地域の待機児解消に対する事業展開、受入体制の整備 ・延長保育事業、一時預かり事業、学童保育事業(自主事業)などの積極的な実施 ・日曜祝日保育事業(自主事業)の実施(第二:365日)	③地域子育て支援に関する事業の充実 ・法人内全園における地域子育て支援事業の実施(一部、自主事業として実施) ・地域子育て支援対策委員会の定期開催 ・法人で独自に作成した健康およびあそびに関するハンドブックの無料配布	④地域の福祉ニーズへの対応 ・法人内の子育て支援事業(親子教室)におけるトリブルPプログラム講座の実施の検討 ④地域の福祉ニーズへの対応 ・育児を中心とした相談窓口のさらなる周知 ・ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援)の事業開始に向けた体制の検討
①子ども育て新システムの導入に伴う体制整備 ②女性の社会参加を支援するための保育サービスの提供 ・地域の待機児解消に対する事業展開、受入体制の整備 ・延長保育事業、一時預かり事業、学童保育事業(自主事業)などの積極的な実施 ・日曜祝日保育事業(自主事業)の実施(第二:365日)	③地域子育て支援に関する事業の充実 ・法人内全園における地域子育て支援事業の実施(一部、自主事業として実施) ・地域子育て支援対策委員会の定期開催 ・法人で独自に作成した健康およびあそびに関するハンドブックの無料配布	④地域の福祉ニーズへの対応 ・法人内の子育て支援事業(親子教室)におけるトリブルPプログラム講座の実施の検討 ④地域の福祉ニーズへの対応 ・育児を中心とした相談窓口のさらなる周知 ・ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援)の事業開始に向けた体制の検討

## 【処遇方針】

高齢者施設	保育施設
①サービスの質の向上のためのシステムの構築 ・ISO9001:2008システム適用範囲の拡大・更新(27年4月受審) ・ISO9001システムによるサービス提供管理の強化	①幼保一体化に向けての教育・保育内容や行事のあり方の検証 ・教育・保育要領に関する理解、及び保育課程などの見直し(法人内研修の実施) ・法人内全園で「教育」の導入(継続) ・個々の性格や発達状態を配慮した個別保育の実施など ・家庭や地域とのコミュニケーションの強化による保育内容の充実
②リスク管理/事故予防体制の充実 ・医療リスク予防プロジェクトにおける介護職と医療職との連携体制の強化(マニュアルの見直しなど) ・各施設の不適合サービスについて、重点改善項目の設定、減少に向けた取り組みの体制整備	②保育サービスなどに関する自己評価の実施 ・各園では一定の評価基準に基づき、自己評価(園・保育士)を行い、サービスの質の向上と改善につなげる体制を整備
③サービスの質の向上のための顧客満足度調査の実施 ・顧客満足度調査の結果に基づく振返りとさらなるサービスの質の向上	③リスク管理体制の整備 ・各園の事故対応マニュアルなどの見直し ・食物以外のアレルギーに関するマニュアルの新規策定を検討
④サービスの外部監査・内部監査の実施による評価・確認体制の整備 ・法人内高齢者全施設の第三者評価受審完了 ・ISOシステムにおける内部監査の実施及び自点検表による自己チェックの実施	④食事の提供・食育の充実 ・献立の共有などを目的とした給食担当者会議の開催 ⑤障がい児の積極的な受け入れ
⑤全施設で認知症ケアを充実するための体制整備	⑥家庭の背景に課題のある子どもへの支援の検討、体制の充実 ・関係機関との連携体制の構築

## 【人財育成および研修体制】

利用者の自立・自律・安心・安全だけでなく、変化するニーズから、さらにその人の可能性を伸ばすサービス展開を図るために必要な学ぶ機会を確保する。同時に育成システムを整備する。	②法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像(「和顔愛語」)の全スタッフへの周知のための体制整備 ③メンタルヘルスなどをはじめとする労働環境整備のための研修会の実施 (※高齢者施設・保育施設の詳細は4~5面参照)
---	--

## 【人財確保体制】

福祉人材の確保については、生産年齢人口の減少や他業種への人材流出が懸念される中、将来の担い手となる若者や学生に「選ばれる業界」への転換を図るために、職員育成体制などの充実や労働環境の整備など、より総合的・中長期的な視点で取り組むことが肝要だと考える。	おり。 ①ホームページ・ネットなどを活用した求人活動 ②優秀な実習生を雇用へつなげる取り組み ③職員の定着に向けた職場環境の整備(諸規程の見直しなど) ④求人活動の分析、その結果に基づいた体制整備
成光苑では上記の活動を進めること併せ、魅力発信のためのホームページ「採用情報」の全面改定や写真集の企画への参画など新たな活動を導入する。詳細は以下のとおり。	②ホームページによる情報開示 ③法人広報誌「きょう」の発行(年3回)による法人情報の公開 ④第三者評価受審および結果の開示 ⑤法人ホームページ内の掲載内容の検討(地域貢献事業など諸活動) ⑥各種行政などからの経営実態のアンケート調査協力など

## 【情報開示・提供】

社会福祉法人・福祉施設に対する厳しい意見や指摘が相次いでいる昨今、われわれ社会福祉法人は、自らの事業や公益的な活動などの情報を積極的に社会に発信し、社会や地域からの理解と信頼が高められるよう取り組む必要性がある。成光苑では以下のとおり情報開示を進める。	②ホームページによる情報開示 ③法人広報誌「きょう」の発行(年3回)による法人情報の公開 ④第三者評価受審および結果の開示 ⑤法人ホームページ内の掲載内容の検討(地域貢献事業など諸活動) ⑥各種行政などからの経営実態のアンケート調査協力など
①経営協・経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示	

## 26年度 事業報告

## 社会貢献事業のさらなる充実を図る

## 【事業報告概要】

- 法人理念・経営方針に基づき、平成26年度事業計画はほぼ予定通り実施。主な報告内容や報告事項は以下のとおり。
- 社会貢献事業のさらなる充実(生活困窮者支援、災害支援、地域子育て支援事業など)(※詳細は6~7面地域貢献事業報告参照)
  - 社会福祉法人の公益性確保のための情報開示への取組と整理

## 【人財確保体制の整備】

- 法人説明会の実施<高齢者・保育>
  - 高齢者施設での大阪府職場体験事業の受入
  - 新規採用職員の入職前の体験実習実施、アルバイトの受入、研修体制などの詳細説明
  - ハローワーク、大阪府人材センターなどへの求人登録
  - インターネットを活用した活動(マイナビ・法人・各施設のホームページの定期的な更新)<高齢者・保育>
  - 高齢者施設への高校卒業生の採用⇒大阪:1名
  - 無資格者の積極的な正規採用
- 【人材育成体制の充実】
- 高齢者・保育とともに継続性のある研修を実施。いずれも次世代の育成を視野に入れ、高齢者施設の部長・課長への研修参加や主任保育士が集まって検討する場面を設定。今後も、育成体制の整備の一環として、中堅から幹部職層への研修体制の見直しを進める。(※詳細は4~5面参照)
- 【情報開示・顧客満足度調査など】
- 法人広報誌「きょう」を発行(年3回:夏・秋・新年号)し、事業報告・事業計画・決算・予算など情報を開示
  - 各施設・各園のホームページの定期的な更新
  - 高齢者施設:法人アンケートを実施し顧客満足度を確認

## 【事業報告概要】

- | 高齢者施設   | 保育施設  |
|---|---|
| ○せつ桜苑の摂津市からの譲渡完了(26年4月1日)<br>○厚デイサービスセンター、ライフ・ステージ舞夢の水害被害への対応(26年8月)<br>○サンヒルズ紫豊館のインフルエンザ蔓延に伴う対策<br>・現在、再発防止のため、医療リスクPJで感染症予防の議論を重ねている状態。 | ○くるみ愛育園「保育ママ」から「小規模保育園」への移行(26年4月より:大阪市先行事業)<br>○くるみ愛育園の園舎正面の土地・建物の買取と改修工事施工<br>○第二愛育園分園・うさぎ園の開設(26年6月開所;定員20名)<br>○正雀愛育園の定員変更(26年4月より140名⇒150名へ増員)<br>○27年度からの子ども育て新システム導入に伴う体制整備(正雀愛育園の幼保連携認定こども園への移行など)<br>○27年度4月より、各自治体の待機児解消に対応する体制整備<br>・第二愛育園分園ひよこ園を千里丘愛育園分園に移行(定員5名増の20名)<br>申請<br>・第二愛育園定員変更(定員145名から160名へ増員)申請 |

